

第一問

次の【資料A】【資料B】を見て、後の問1，問2に答えなさい。

【資料A】（松井透著「世界市場の形成」岩波モダンクラシックス より）

（図表 省略）

【資料B】（川北稔編「新版世界各国史 11」山川出版社 より）

（図版 省略）

問1 【資料A】は、ある商品の輸出額の変化を示すグラフです。その商品とは何のことですか、答えなさい。

問2 問1で答えた商品に、【資料A】における輸出額の変化が起きたのはなぜですか。【資料B】を参考に、次の 内にある3つの語句を必ず用いて、200字以内で説明しなさい。

インド 世界の工場 機械

第二問

現在の安倍政権は、「女性が輝く日本」をつくることを重要政策の一つとし、そのために「待機児童の解消」「職場復帰・再就職の支援」「女性役員・管理職の増加」などの政策を掲げています。

後にのせた【資料1】～【資料6】を見て、問1～問4に答えなさい。

問1 次の【資料1】は、1985年につくられた法律の一部です。この法律名を漢字で答えなさい。

【資料1】

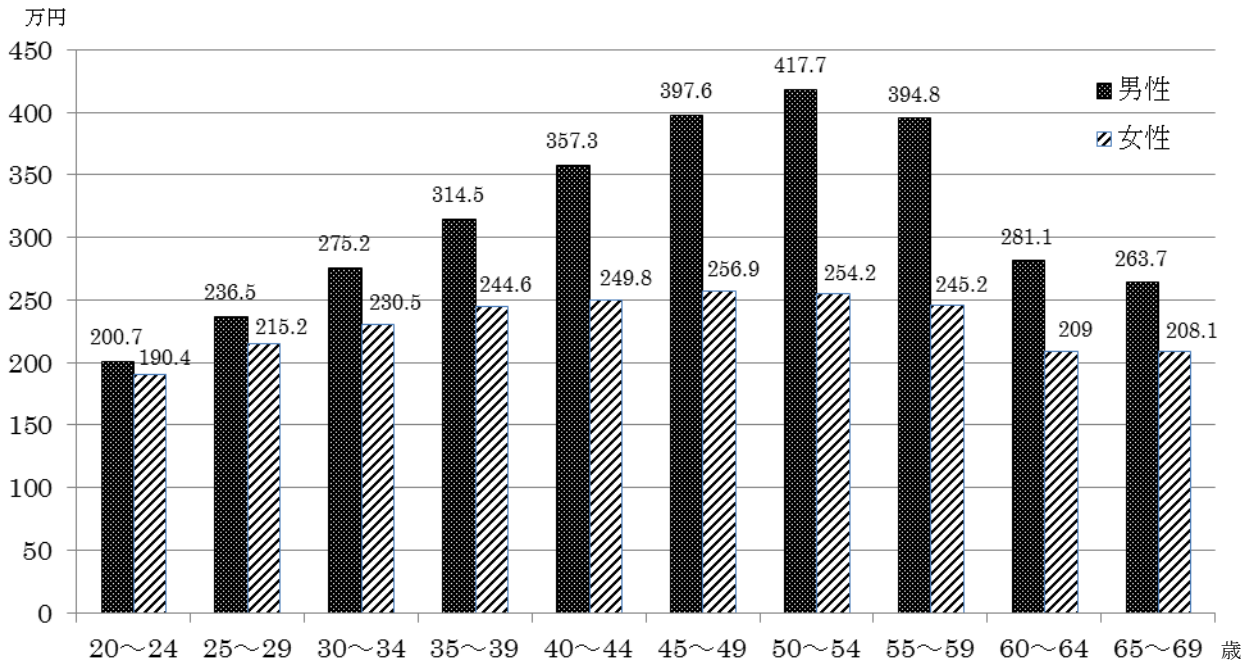
第5条 事業主は労働者の募集及び採用について、その性別にかかわらず均等な機会を与えなければならない。

第6条 事業主は、次に掲げる事項について、労働者の性別を理由として、差別的取扱いをしてはならない。

1 労働者の配置(業務の配分および権限の付与を含む。), 昇進, 降格および教育訓練 …

問2 【資料2】を見ると、20～24歳ではほとんど差がなかった男女の年収差が、次第に開いていくことがわかります。一番男女差が開いている「年代」において、女性の平均年収は、男性の平均年収の約何%ですか。小数点以下を四捨五入して答えなさい。

【資料2】男女の年代別平均年収



(厚生労働省「平成25年賃金構造基本統計調査(全国)結果」より作成)

問3 【資料3】は、日本の働く女性の割合を他国と比較したもの、【資料4】は日本の働く女性の正規雇用労働者と非正規雇用労働者の割合を表したものです。2つの資料を見て、次の会話中の(1)(2)に当てはまる語句を、〔 3 〕には当てはまる10字程度の言葉を、それぞれ答えなさい。

※非正規雇用労働者とは、パート、アルバイト、派遣社員などのように、期間の定めがあったりフルタイムでない働き方をする労働者を指す。

■富ちゃん：欧米の国に比べると、日本の女性は（ 1 ）や（ 2 ）のために仕事を辞める人が多いのね。

■谷先生：そうだね、仕事と（2）の両立が難しいと考えている人が多いわけだ。その原因の一つには、（2）をしながら働き続けるための社会制度や設備が欧米に比べて十分でないということがある。

■富ちゃん：保育所の待機児童の問題とか？

■谷先生：そう、（2）休業の取りにくさなどもそうだ。制度上はとれるはずなのだが実際にとることは難しかったりもする。それと、社会の慣習として、「男は仕事、女は家庭」のような古い考え方が根強く残っているという側面もある。企業の中には、（1）したら会社を辞める、「寿退社」をしてもらうことを前提で女性を採用しているところもあるくらいだ。もちろん本人が望んで会社を辞めるのならいいが、働き続けたいのに辞めざるを得なくて辞めている人がいるとしたら、それは解決していかなければいけない問題だね。

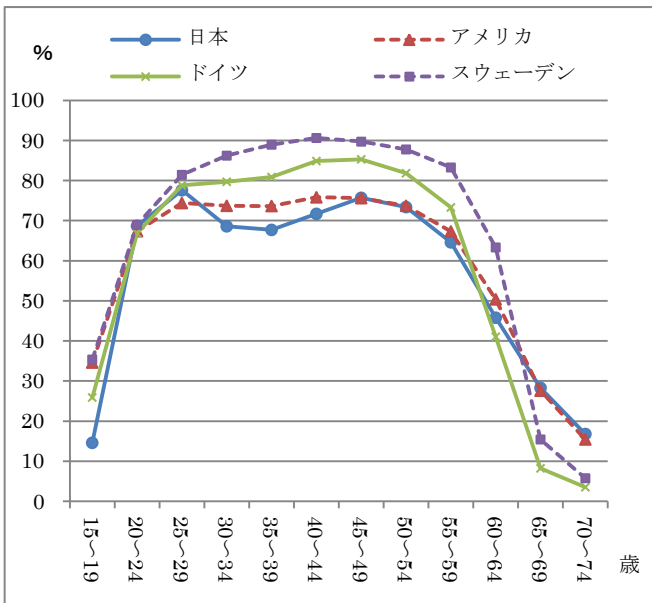
■富ちゃん：男性に比べて女性は非正規雇用の割合が高いというのも聞いたことがあるわ。

■谷先生：そうだね、平均すると男性の非正規雇用率は21.2%なのに対し、女性の非正規雇用率は55.8%だ※。【資料4】の正規雇用の部分がM字型にならず右肩下がりになっているのは、一度仕事を辞めると〔 3 〕のが難しいことを表している。

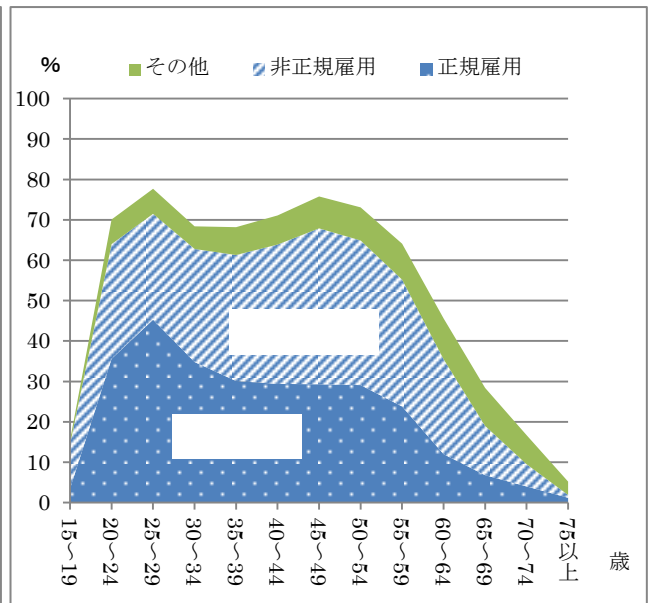
■富ちゃん：非正規雇用が多いと平均年収も低くなる。最近は若い女性の貧困も問題になってきているわね。管理職や国会議員の女性の割合も低いというし、日本は男女平等という面で世界的に遅れている…改善しなければいけないことはたくさんあるわね。

※2013年のデータ。役員を除く雇用者の中での割合。総務省「労働力調査」より

【資料3】年代別女性労働力率※国際比較（2012年）



【資料4】日本の年代別女性労働力率就業別形態



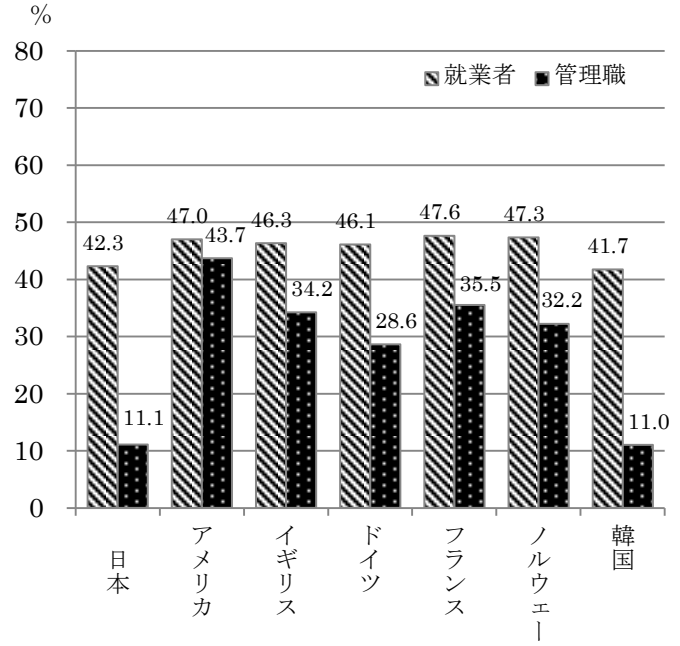
※労働力率=15歳以上人口に占める労働力人口（就業者+完全失業者）の割合（内閣府男女共同参画局ウェブサイトより作成）

問4 【資料5】【資料6】を見て、以下の(1)(2)に答えなさい。

【資料5】国会議員における女性の割合

順位	国名	女性議員の比率	クォータ制導入
1位	ルワンダ	63.8%	○
2位	アンドラ	50.0%	×
3位	キューバ	48.9%	×
12位	ノルウェー	39.6%	○
21位	ドイツ	36.5%	○
48位	フランス	26.2%	○
62位	中国	23.4%	○
85位	アメリカ	18.3%	×
96位	韓国	15.7%	○
130位	日本	8.1%	×
世界平均(189か国)		22.2%	

【資料6】就業者・管理職における女性の割合



- (1) これらの資料を見ると、日本での女性の国会議員や管理職（管理的職業従事者）の割合は、他国に比べると低いことがわかります。このような状況を改善する方法の一つとして、たとえば、「管理職の40%は必ず女性を登用する」「国会議員の50%は必ず女性とする」などと法律などで義務化するなどの方法があります。このような一定の割合を義務づけるやり方を「クォータ制（割当制）」といいます。日本と同じように女性議員の割合が低かった韓国では、2000年にクォータ制を法制化し、約20年前には2.0%だった女性の割合が15.7%まで伸びました。このように、クォータ制には一定の成果が見られるようです。しかし、一方でこのような「クォータ制」は「逆差別」になるという意見もあり、反対する人もいます。なぜこれが逆差別になるのか、具体例をあげて理由を説明しなさい。字数は80字以上100字以内とする。
- (2) あなたは上記の「クォータ制」に賛成ですか、反対ですか。あなたの意見を理由を明確にして書きなさい。字数は120字以上150字以内とする。